



## 雨の音ってどんな音かな

6月30日(火)、小学部の児童は音楽の時間にいろいろな道具で「雨の音」を再現した楽器を使い、「雨降り」の歌をうたいました。いろいろな「雨の音」が聞こえてとても楽しく歌うことができました。



あめあめふれふれ  
かあさんが♪



壱岐には川がたくさんあるんだね。



中学部の生徒は7月6日(月)に浄水場への社会科見学に行きます。

6月30日(火)は、タブレットPCを使って壱岐市内の川やダムの場所などを調べました。

## 救急救命に関する学習

— 令和8年7月1日(水)



7月1日(水)、沓崎高校のセミナーハウスで、高等部職員も交えた救急救命に関する学習を行いました。高等部では、教科「保健体育」の中で、怪我に対する処置や熱中症への対応等を学習しますが、この日は、沓崎消防署の3名の署員の方々に来校いただき、実技を交えた学習を深めました。



3班に分かれて実技に臨むと、「呼吸の確認がうまくできませんでした」や「心臓を押すときのペースがとても速いです」と、戸惑いの中実際に体験をすることで、教室での学習をより深めることができました。また、生徒によっては教員の支援を受けつつ、心配そうに人形の表情を伺ったり、両肩をトントンと優しくたたいて様子を確認したりしようとする様子が印象的でした。

最後のお礼の言葉では、「圧迫は難しかったけど、やるのが大切と感じました。」という感想に触れることができました。

## 人権学習

— 令和8年7月1日(水)



高等部では6月29日(月)から、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に伴う学校開放を行っています。1週間にわたって様々な学習を計画している中、「人権学習」に取り組みました。



「人権」という言葉を聞いて、とても大切なことだということは感じつつも、具体的にイメージをもつことは難しい生徒も多くいます。そのため、「嫌なことをされたら自分はどんな気持ちになるだろう」と具体的な場面を考えて、友達同士が関わる場面では、どのような行動・言動に気を付けることができるか、友達どうして話し合ったり、ワークシートに考えたことや感じたことを書いたりしながら学習に取り組むことができました。